

【CONTENTS】

○特集・トピックス

- ・「訪日教育旅行セミナー」開催報告
(所長補佐 古川 健 (京都府派遣))
- ・「海外事務所現地職員日本研修」報告書
(調査員 高 華彬)
- ・在中国日本大使公邸における天皇誕生日祝賀レセプションにブース出展しました！
(所長補佐 阿部 遼太郎 (文京区派遣))

■ * * * * * ■

○特集・トピックス

- ・「訪日教育旅行セミナー」開催報告
(所長補佐 古川 健 (京都府派遣))

自治体国際化協会北京事務所では去る12月1日、北京市において訪日教育旅行セミナーを開催しました。

昨今の経済・社会状況の変化を受けて、「観光」が日本における地域振興施策の中核の一つとして注目を集めており、訪日外国人旅行者誘致を促進するため、「ビジット・ジャパン」の取組が官民一体で推進されています。中国からの訪日教育旅行にも大いに期待が寄せられており、地方自治体においても教育旅行誘致への関心が高まっています。

こうした状況を踏まえ、中国から日本の各地域への教育旅行誘致の促進を支援するため、地方自治体が一体となってそれぞれの地域が有する魅力・特色を北京において発信するとともに現地教育旅行エージェント等との交流を深める機会として開催したものです。

第1部の「自治体プロモーション」においては、各府県や市の担当者が、中国語で用意した教育旅行パンフレットや資料、交流の実績や受入れ学校の一覧などを示しながら各地域の教育旅行に適した資源や見どころを教育旅行エージェントに対してPRしました。

また、引き続き開催しました第2部「交流・意見交換会」においては、日本政府観光局北京事務所及び北京市旅遊発展委員会からも来賓としてご参加いただき、日中双方のセミナー参加者の皆様とともに交流・情報交換をしていただきました。

今回、訪日教育旅行セミナーにご出席、参加いただいた団体は次のとおりです。

■参加者：79名

【日本側】：地方自治体 16 団体

山形県、福井県、山梨県、長野県、愛知県、滋賀県、京都府、兵庫県、奈良県、
岡山県、高知県、福岡県、宮崎県、沖縄県、新潟市、北九州市

【中国側】：北京市内教育旅行エージェント 16 社



今回セミナーには、当初予定を上回る多数の団体の皆様にご参加いただきました。そして、ご参加いただいた自治体の皆様からは、「旅行社の方々と一度にお会いして直接意見が聴取でき、各種 PR が直接旅行社向けにできてとても有意義だった」、「来年度以降も是非参加したい」といったご意見を多数いただきました。

また、今回のセミナーには、北京市内教育旅行エージェント側から、教育旅行業務を企画担当されている責任者の方々、キーパーソンの皆様方にご参加いただいたこともあり、自治体側のプロモーションを一方向的に聴くだけでなく、大変熱心に質問をされる姿が多く見受けられました。

そして、結果的に当初予定を上回る数の団体の皆様にご参加いただけたこともあって、一団体当たりの PR 時間がもう少し欲しかったとの御意見もいただきました。

北京事務所では、今後も引き続き、自治体の皆様方のご意見を踏まえて訪日教育旅行プロモーション事業を開催し、地方自治体の取組支援を行っていきたいと考えております。



《 訪日教育旅行セミナーの自治体プロモーション風景（文中の写真も同じ） 》

・「海外事務所現地職員日本研修」報告書

(調査員 高 華彬)

海外事務所現地職員研修事業の一環として、2011年11月14日から11月25日にかけて、東京都、鹿児島県、長崎県において約2週間の研修を受けました。自治体国際化協会本部（東京都内）にて事業概要の説明を受けた後、鹿児島県、長崎県を訪問し、自治体で行う事業概要についてお話を伺いました。まず鹿児島県では、同県が行っている観光事業の説明を受けた他、代表的な観光地等の視察を行いました。次に長崎県では、対中国交流概要について説明いただき、特別企画展「孫文、梅屋庄吉と長崎」の視察を行いました。自治体の訪問を通じて学んだことは多く、北京事務所での業務遂行のためのスキルアップを行う大変良い機会になりました。内容も豊富で充実した日本研修プログラムを組んでいただき、そして周到に、また快く親切に受け入れ、ご対応くださいました鹿児島県、長崎県の方々をはじめとした関係者の皆様に感謝申し上げます。ここに研修報告書として、実地研修の概要を中心に紹介し、感想などを簡単にまとめさせていただきます。

鹿児島県訪問

2日間急ぎ足の視察で、見るべきものはまだ沢山ありますが、鹿児島県の観光資源の豊かさ、充実した観光施設、そして、地元の人々の「おもてなし」の心などがよくわかりました。スケジュールの順番に沿って、一中国人観光客の目から見て、一部の施設について感じたことを述べさせていただきます。鹿児島県の中国人観光客誘致事業をはじめとした中国人訪日観光客の誘致に少しでも役に立てば幸いです。

① 霧島神宮

市内から車で約1時間半の距離ですが、途中、鹿児島島の自然を満喫しました。山々が緑に覆われ、空気も良く、また平地の農園風景も素晴らしいものでした。特に山に入るにつれ、原生林が生い茂っており、中国四川省にある九寨溝の原生林を連想させるほどでした。

霧島神宮手前の足湯を体験してみました。水が温かくて、景色も良く、10分間ぐらい浸かってみましたが、足がかなり軽くなった気分です。一人100円という使用料（タオルは提供）も、手頃だと思います。中国ではまだ足湯のような施設はあまり見られないので、日本に行ったら体験したくなると思います。表示や使い方の説明はまだ日本語しか無いので、今後外国語表示があれば、海外からの観光客はもっと使いやすくなるでしょう。

霧島神宮は境内が静かで、古い木や森林が多く、建物も日本の伝統的な特色に富み、歴史由緒のある所であるので、一見する価値があります。

温泉土産店、それから神宮の駐車場のお土産売店も訪問しました。商品の種類が豊富で、鹿児島産のサツマイモや、黒飴、カツオなどといった地元の特産があり、値段も手頃だったため、旅行客も満足するものだと思います。ただ日本人が普段慣れている食べ物が、外国人にとっては味どころか名前すら初耳のものが多いので、今後、外国人旅行客が増えた場合、試食などをもっと増やした方が良いでしょう。

② 黒酢料理

霧島市福山町にある「桝志田（かくいだ）」というレストランで食事をしましたが、料理も景色も最高でした。料理がおいしくて、高級感があり、レストランの規模（300人収容）が大きく、海と山に挟まれたのどかな田園風景、特によそに見られない綺麗に並べられた数千個の酢の壺がいっぱい咲き誇るコスモスの花に溶け込んだ自然風景が中国人の観光客、特に写真好きな方に大変喜ばれるでしょう。

レストランの内部もゆったりした空間を持ち、外の壺や田園風景を眺めながら、黒酢を使った健康美味（特に高血圧に良いそう）をゆっくり堪能できました。酢豚定食を食べましたが、色、香り、形、量、全て満点に近く、味も中国人の口にも合うと思います。値段も観光客向けには手ごろだと思います。

店の中に黒酢の歴史や作り方の資料、写真などもきれいに展示されているので、ちょっとした勉強にもなります。一階には黒酢のジュースなどの試食コーナーや、売店もあります。



《黒酢料理屋の外に並んでいる酢の壺》



《桜島の急な噴煙を目撃、迫力満点》

③ 桜島

中国では普段活火山を見ることができませんので、貴重な体験になると思います。今回もたまたま展望台で、突然大きな噴煙の場面に出くわしました。爆竹ほどの音の大きさでしたが、勢いよく舞い上がる灰色の噴煙は、大変迫力がありました。展望台のほかにも資料展示コーナーや体験施設などもあり、修学旅行の訪問先として最適ですし、大人でも大自然の迫力を感じられる良い経験となります。

噴煙の場面や、溶岩、火山を撮影するのも面白かったです。溶岩で作った植木の器という、ここにしかないお土産が気に入りましたので、記念に一つ買って持ち帰りました。

④ 仙巖園

もともと NHK 大河ドラマ『篤姫』を観たのがきっかけで、鹿児島を訪ねてみたいと興味を持っておりました。そのため仙巖園で桜島をゆっくり鑑賞したかったのですが、山は噴煙で余りよく見えず、到着した時は既に黄昏を迎えていましたので、残念ながらその夢を完全には実現することができませんでした。

しかし、仙巖園の成り立ちや中国と日本の交流の歴史に詳しい方にご案内していただいたおかげで、園内の造園技術や、「蘭亭」など、中国と関連が多いことを知り、日中友好の歴史の長さを感じることができました。

園内では、ちょうど菊と菊人形の展示会が行われていました。中国では菊の花は観賞用にはよく使われていますが、人形の衣裳や、御輿の飾りなどにはあまりないので、新鮮味がありました。

また、園内には、中国語のパンフレットもあるほか、中国人の案内員が配置され、中国語の対応がとてもしっかりしています。

⑤ 指宿砂蒸し風呂

知名度が高く、余所にはないものなので、体験する価値があります。体ごと温かい砂に覆われ、全身がほかほかになり、そよ風が顔を触れ、耳に海の音が聞こえてくるのは、まさに極楽といった感じでした。前後に体重を測ってみましたが、10分間の砂風呂で0.8キロぐらい体重が減っていました。ダイエット効果も宣伝できるかもしれません。

下着をつけたまま浴衣を着るのかどうか、また「掛かり湯」とはどのように使うのか、といった点で戸惑いがありましたので、外国人にも分かりやすい説明が必要だと思えます。

鹿児島の観光 PR について、鹿児島県庁関係者との意見交換の時も触れましたが、北京の観光は「不到長城非好漢、不吃烤鴨真遺憾」と言う中国人にとっては韻を踏んで覚えやすく、意味もわかりやすい語呂合わせに凝縮されるように、



中国語の PR キャッチフレーズを考え、大いに PR した方がより効果があるでしょう。語呂合わせをあまりしていませんが、次の言葉を提案させていただきました。

「観桜島火山、蒸指宿砂浴。品黒猪美味、遊霧島神宮」。

長崎県訪問

長崎県と中国の交流の歴史や現状について、多くの資料を提供していただき、詳しく説明を行っていただき、長崎県と中国の友好関係を改めて実感することができました。

長崎県観光振興課からも中国人観光客誘致について詳細に説明をしていただき、長崎県

が中国人観光客誘致に非常に熱心であることも強く感じることができました。

長崎県アジア・国際戦略課からは「出島ネットワーク」について説明いただき、交流を行いました。そして、長崎県を訪れた感想や、北京で起こった面白いことについての寄稿依頼をいただきました。

特別企画展「孫文・梅屋庄吉と長崎」も鑑賞してきました。2011年は中国の辛亥革命100周年にあたり、中国では関連ドラマや映画の放映、展示会など多くのイベントが行われておりますが、日本で孫文に関する展示会を見ることができたのは大変嬉しかったです。特に、中国から寄贈された孫文と梅屋夫婦の三人像や、中国から借りてきたという文物資料、日本で保存されていた貴重文物が数多く一堂に集められていますので、見る価値があると思います。

5年前に国際交流員として長崎県で勤務して以来、長崎県とは長くお付き合いをさせていただいています。国際交流員の時に長崎県では観光PR等の事業をお手伝いさせていただきました。帰国してから、特に北京事務所に入所して以来も、長崎県の観光PR事業、教育旅行、物産販売、文化交流などの面で通訳や翻訳、関係機関訪問のアテンドを頼まれることも多く、非常に良い交流関係を保っています。今回の訪問で様々な方と交流出来たことは大変意義深いです。この経験は、今後長崎県関連事業の活動支援をはじめとした、自治体活動支援に大いに役立てることができると考えています。

さいごに

約2週間の研修でいろいろな場所を訪れ、いろいろな方々と会い、感じたこと、学んだことが沢山あります。そして、4年ぶりの日本訪問で、日本の美しい自然や充実したインフラ施設、日本人の礼儀の良さと優しさを再認識することができました。一方で、4年前と比較し、経済や社会が少しずつ変化していることにも気付かされました。今後は自分として、公私を問わず、もっともっと日本を訪問すべきだと思います。それから、この素晴らしい日本が、中国をはじめとした海外の観光客にとって依然として十分魅力がある豊かな観光目的地であることを改めて実感しました。今後もより多くの中国人観光客が日本を訪問できるように微力ながら頑張っていきたい所存です。

・ 在中国日本大使公邸における天皇誕生日祝賀レセプションにブース出展しました！
(所長補佐 阿部 遼太郎 (文京区派遣))

2011年12月7日、在中国日本大使館において、天皇誕生日を祝賀するとともに、「東日本大震災からの復興」及び「各国等への謝意表明」を行うレセプションが開催されました。会場の中では自治体や民間企業等によりブースが出展され、各種PRが行われました。

当事務所も同レセプションに出展をし、自治体の観光PRパンフレットを配布するなど、日本の地域の魅力をPRしました。また今回の出展のテーマである東日本大震災からの復興状況を来館者に分かりやすく伝えるため、岩手県、宮城県、福島県の三県から復興状況資

